



# 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 9 日

上場会社名 株式会社 J - オイルミルズ

(コード番号：2613 東証・大証第 1 部)

(URL <http://www.j-oil.com/>)

代表者 代表取締役社長 佐々木 農二

問合せ先責任者 取締役兼専務執行役員業務部長 榎田 純和 TEL (03) 5148 - 7100

親会社等の名称 味の素株式会社 (コード番号：2802)

親会社等における当社の議決権所有比率 27.3%

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 内容： 法人税等の計上基準について年間予測税率を採用しております。  
 その他影響額が僅少なものにつき一部簡便的な方法を採用しております。
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 内容： 連結（除外）1社（楽陽食品㈱）

## 2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	131,109	6.7	6,936	130.8	7,816	105.1
17 年 3 月期第 3 四半期	140,541	2.0	3,005	-	3,812	-
(参考) 17 年 3 月期	179,262		3,959		5,024	

	四半期（当期）純利益		1 株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	3,244	31.3	19.44	-
17 年 3 月期第 3 四半期	2,470	-	14.81	-
(参考) 17 年 3 月期	2,258		13.19	-

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 売上高以外の四半期経営成績の開示は、前連結会計年度より行っているため、前年同四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第 3 四半期（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日）のわが国経済は、原油価格の高騰などの不安定な要素はあるものの、企業収益の改善や設備投資の増加に加え個人消費も緩やかながら増加し、景気は引き続き回復基調にて推移いたしました。

製油産業を取り巻く環境としましては、主原料である大豆につきましては、シカゴ大豆相場が、4 ~ 9 月は 1 ブッシェル当たり 5 米ドル半ばから 7 米ドル半ばの範囲で大きく変動したものの、10 月以降は同 5 米ドル後半から 6 米ドルの小幅な範囲にて推移しました。もうひとつの主原料である菜種につきましては、ウィニペグ相場が、4 ~ 9 月は 1 トン当たり 250 ~ 310 加ドル強（215 ~ 248 米ドル）の範囲で乱高下しましたが、10 月以降は同 230 ~ 260 加ドル（200 ~ 219 米ドル）と狭い範囲の動きで安定いたしました。海上運賃は引き続き 45 ~ 50 米ドルと高止まりとなっております。為替相場につきましては、期初に 1 米ドル 108 円でスタートし、4 ~ 9 月には同 105 ~ 114 円で推移、10 月以降は同 114 ~ 122 円と円安傾向が進みました。

このような状況のもと、油脂部門は、製品開発力強化と提案・技術支援型の営業活動に務めた結果、外食・中食市場向けを中心に堅調に推移いたしました。油糧部門は、需要先である飼料メーカーの生産が順調に推移した為、主力商品のミールは全体的に順調な出荷となりましたが、一方、価格は海外相場が下落した事に加え、搾油が大豆から菜種にシフトされた影響で、安価な菜種ミールの出荷が相対的に増加し、ミールの売上高は減少いたしました。

尚、飼料業界におきましては、引き続き鳥インフルエンザへの警戒感から需要の減少懸念があり、当社にとりましてもミール需要への不安材料となっております。

当社グループは、平成16年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「Jump from “0”<sup>ゼロ</sup>計画」を策定し、相場変動に打ち克つ力をつけ、安定収益を確保することを目標に、全社を挙げて取り組んでおります。当四半期よりこの中期経営計画期間の後半に入りましたが、現在のところ、生産・物流の最適化によるコストダウン、スケールメリットの活用による調達コスト削減、および付加価値商品の拡販を目的とした営業諸施策の実施等の相乗効果により、概ね順調に進捗いたしております。

以上の結果、当第3四半期の連結売上高は、1,311億9百万円（前年同期比6.7%減）となりましたが、利益面は、営業利益69億36百万円（前年同期比130.8%増）、経常利益78億16百万円（前年同期比105.1%増）、四半期純利益32億44百万円（前年同期比31.3%増）といずれも増益となりました。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	137,667	59,267	43.1	354.48
17年3月期第3四半期	142,630	55,669	39.0	332.80
(参考)17年3月期	136,816	55,823	40.8	333.44

### [ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期末の総資産は1,376億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億51百万円の増加となりました。

資産が増加した主な要因は、受取手形及び売掛金の増加62億10百万円、投資有価証券の増加24億78百万円、現金及び預金の減少24億14百万円、たな卸資産の減少43億7百万円などによるものであります。負債が減少した主な要因は、支払手形及び買掛金の減少23億43百万円、短期・長期借入金の減少12億73百万円、未払法人税等の増加14億87百万円などによるものであります。

株主資本は592億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して34億43百万円の増加となり、株主資本比率は2.3%増加いたしました。

## 3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	172,000	8,200	3,300

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)19円73銭

### [ 業績予想に関する定性的情報等 ]

前回(平成17年11月21日)発表の業績予想に変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第3四半期 平成17年12月31日現在		前連結会計年度 平成17年3月31日現在		増減 金額	前年同四半期 平成16年12月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	金額
<b>資産の部</b>		%		%			%
流動資産							
1 現金及び預金	5,397		7,811		2,414	6,894	
2 受取手形及び売掛金	32,930		26,719		6,210	36,763	
3 たな卸資産	21,232		25,540		4,307	23,312	
4 その他	4,153		4,429		275	5,331	
流動資産合計	63,713	46.3	64,500	47.1	787	72,302	50.7
固定資産							
1 有形固定資産	57,333		57,335		1	56,067	
2 無形固定資産	4,128		4,879		750	4,999	
3 投資その他の資産	12,491		10,101		2,390	9,260	
固定資産合計	73,953	53.7	72,315	52.9	1,638	70,327	49.3
資産合計	137,667	100.0	136,816	100.0	851	142,630	100.0
<b>負債の部</b>							
流動負債							
1 支払手形及び買掛金	13,769		16,113		2,343	15,703	
2 短期借入金	21,523		26,490		4,966	38,132	
3 その他	11,389		10,435		954	9,891	
流動負債合計	46,682	33.9	53,038	38.8	6,355	63,727	44.7
固定負債							
1 長期借入金	18,165		14,471		3,693	9,548	
2 退職給付引当金	3,121		3,317		196	3,262	
3 繰延税金負債	5,859		4,864		995	5,116	
4 連結調整勘定	2,437		3,249		812	3,520	
5 その他	2,135		2,051		83	1,785	
固定負債合計	31,717	23.0	27,954	20.4	3,763	23,233	16.3
負債合計	78,400	56.9	80,992	59.2	2,592	86,961	61.0
<b>資本の部</b>							
資本金	10,000	7.3	10,000	7.3	-	10,000	7.0
資本剰余金	31,632	23.0	31,632	23.1	0	31,632	22.2
利益剰余金	14,161	10.3	12,056	8.8	2,104	12,269	8.6
その他有価証券評価差額金	3,571	2.6	2,223	1.6	1,347	1,847	1.3
為替換算調整勘定	5	0.0	20	0.0	14	14	0.0
自己株式	93	0.1	69	0.0	23	64	0.1
資本合計	59,267	43.1	55,823	40.8	3,443	55,669	39.0
負債及び資本合計	137,667	100.0	136,816	100.0	851	142,630	100.0

## 2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第3四半期 平成17年4月1日 平成17年12月31日		前年同四半期 平成16年4月1日 平成16年12月31日		増減 金額	前連結会計年度 平成16年4月1日 平成17年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
		%		%			%
売上高	131,109	100.0	140,541	100.0	9,431	179,262	100.0
売上原価	102,790	78.4	114,603	81.6	11,813	145,363	81.1
売上総利益	28,319	21.6	25,937	18.4	2,381	33,898	18.9
販売費及び一般管理費	21,383	16.3	22,932	16.3	1,549	29,938	16.7
営業利益	6,936	5.3	3,005	2.1	3,930	3,959	2.2
営業外収益	1,355	1.0	1,388	1.0	33	1,804	1.0
営業外費用	474	0.3	581	0.4	107	739	0.4
経常利益	7,816	6.0	3,812	2.7	4,004	5,024	2.8
特別利益	111	0.1	261	0.2	150	489	0.3
特別損失	2,554	2.0	317	0.2	2,236	2,306	1.3
税金等調整前四半期 (当期)純利益	5,373	4.1	3,755	2.7	1,617	3,208	1.8
法人税等	2,128	1.6	1,285	0.9	843	950	0.5
四半期(当期)純利益	3,244	2.5	2,470	1.8	774	2,258	1.3